

枠と壁を一体化させるデザインの新感覚ドア枠 「スリット枠」が「2018年度グッドデザイン賞」受賞

■ニュースポイント■

全国で建築用木材・建材・設備機器等の流通から住宅の開発・建設・供給を行う住生活産業グループ、すてきナイスグループ株式会社（社長：木暮博雄、本社：神奈川県横浜市、東証1部上場）の関連会社で、木質内装建具製造事業を手がける株式会社アルボレックス（社長：鈴木啓、本社：徳島県徳島市）は、枠と壁が一体化した新感覚のドア枠「スリット枠」を設計・開発し、このたび「2018年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。同社にとって、2014年の受賞以来、4年ぶり2度目の受賞となります。

【製品の概要・コンセプト】

- 「スリット枠」は枠と壁を一体化させるデザインを施した住宅向けのドア枠です。従来、ドア枠などの建具枠は、建具と壁の間を区切るものと考えられていましたが、最近の傾向としては建具枠が目立たないように枠の色と壁を白く統一する、薄く見せる工夫を凝らすなどといった製品も登場するようになりました。このたびの開発に当たり、一体化とプラスアルファによりシンプルかつ洗練されたドア枠をデザインするという考えのもと、①ドア枠の出っ張りをなくしてフラットにすることで壁との連続性を実現する、②フラット化を実現するために枠回りにスリットを入れる、③ドア枠を薄く見せるようにテーパをつける、④施工性も重視して壁クロスを張る際にカッターなどでカットをやすくする、などを考慮いたしました。
- 壁とドア枠をフラットにすると、フローリングと壁の間に取りつける幅木の処理が課題となりますが、「スリット枠」は枠回りにスリット（底目地）を設け、幅木を底目地の部分に折り込むことで処理を可能にしました。また、スリットの部分に透明のアクリルを使用し、室内の光が漏れるシンプルな「明かり窓」とする製品のほか、スリットに赤や青の化粧シートを入れることで子供部屋を連想させるといったサイン的な要素を持たせた製品なども開発いたしました。
- 一般的に、内装ドアと言えばドアのデザインばかりが目目されがちですが、ドア枠そのもののデザイン性を追求することで、これまでにない新感覚のドア枠が誕生いたしました。

■グッドデザイン賞とは■

グッドデザイン賞は1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで60年以上にわたって、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されています。



■グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション2018」開催中■

10月31日から11月4日まで、東京ミッドタウン（東京都港区赤坂9-7-1）で開催されている受賞展「グッドデザインエキシビション2018」会場で紹介されております。

NEWS RELEASE

■株式会社アルボレックス 会社概要

創 業：1921年（大正10年）
所 在 地：徳島県徳島市津田海岸町4-59
代 表 者：代表取締役社長 鈴木 啓
従 業 員 数：214人
売 上 高：60億900万円（2017年度）

当社は「樹と木を究め、樹と木を超える事業の展開」をビジネステーマに掲げ、収納扉や造作部材、建具、玄関収納、家具など住宅内装部材の製造販売に取り組んでいます。創業以来、取り扱っている「木材」を時代とともにデザインや機能性を変化させながら、お客様に必要とされる製品を開発・供給してまいります。



枠にカラーをつけることで室内サインの機能を持たせた「スリット枠」

(拡大図)

お問い合わせ先*****

株式会社アルボレックス 徳永 TEL：(088)662-5550
〒770-8001 徳島県徳島市津田海岸町4番59号
<http://www.arborex.co.jp/>

ナイス株式会社 広報室 森・松村 TEL：(045)501-5048
〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8階